

2025年2月3日

課題名：やせ妊婦における早産リスクとその関連因子の検討

◆研究の目的と概要◆

妊娠前 BMI が低い「やせ」妊婦では早産率が上昇することが知られています。また、妊娠中の体重増加量は産婦人科ガイドラインでも推奨されていますが、推奨されている基準を満たさない症例も少なくありません。当院におけるやせ妊婦の早産率とその要因を検討し、早産予防へつながる対応について検討することを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2023年4月から2024年3月までの間に当院外来を初診し、その後に分娩に至った単胎妊娠のうち、妊娠前 BMI が既知である方を対象とします。

◆研究に使用される情報・試料◆

年齢、分娩週数、既往分娩数、母体身長、母体体重、BMI、児体重、分娩方法、分娩誘発の有無、分娩時出血量、早産に至った経過、妊娠合併症

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2025年3月1日以降

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

産婦人科 研究責任者 福原 健

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難である等の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明